

久我山だより

令和5年10月31日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

45年目の久我山小

～ みなさんのおもい と これから ～

校長 小原 潤

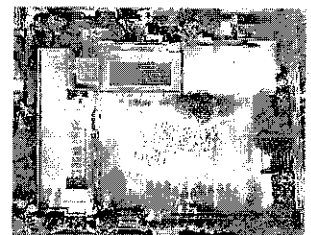
久我山小学校は昭和53年4月に開校しました。昭和40年代後半から、区南部地域の児童数増加が進み、「この地域にぜひ新たな小学校を」という地域のみなさんの願いから誕生しました。また、正門わきの樹齢200年を超える、シンボルツリー「しいのき」も、「この地の見事な木を子どもたちのために残したい」という地域のみなさんのおもいがあり今に残っているそうです。もともとあった木々を残すために設計時から校舎の位置や教室の配置を工夫したと聞いています。

校歌「丘はみどり」は「あめふりくまのこ」や「おはなしゆびさん」を作曲したこの地域に住む湯山 昭先生の作曲です。「杉並の空よ、いつも青く、久我山の緑よ、いつも鮮やかにあれ！」との湯山先生の言葉が今も校長室に飾られています。

昭和63年、10周年記念の行事として「久我山まつり」が始められました。その当時の教員の子ども自身による自主的、創造的なお祭りをという願いは今も引き継がれています。

平成8年、久我山小の子が大好きな教育目標「人にやさしさ、自分につよさ」が制定されます。その当時の校長である井出隆安先生は「人や自然と共に生きるという事をしっかりと自覚して、激しく変化する時代を人間らしく、力強く生きてほしい」という願いが込められていると書かれています。

平成20年に学校支援本部が、平成26年に学校運営協議会が設置されます。CS会長の小川昭二郎先生は、「最初の会議で感じたことはCS委員のみなさんが久我山を愛し、久我山小を愛していることでした」と書かれています。



【ドローンで撮影した本校】

先日6年生が道徳の学習で「下級生にどのような伝統を残していきたいですか」という学習をしたところ、「ソーラン」や「久我山まつり」「なかよし班」「いいねタイム」「校内の自然」などが出てきました。理由として「みんなで達成感を味わってほしい」「一つになって共に助け合ってほしい」などが書かれていました。

今年も正門わきの「しいのき」はたくさん「しいのみ」を実らせています。これまでのたくさんの方々の願いやおもいをしっかりと受け止め、さらなる発展に努めていきたいと思えます。



【今年実った「しいのみ」】

11月の生活目標

思いやりをもってすごそう

外で遊ぶのに気持ちの良い季節になりました。休み時間には校庭でボール遊びやおにごっこなど、元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られます。友達と誘い合って遊ぶことはとても大切です。友達との関わりの中で、譲り合い・思いやりの心を学んだり、遊びのルールを理解したりと社会性を身に付けていきます。遊びだけでなく普段の生活の中でも、思いやりの心をもって過ごすことで、人との関わりを大切にしたいという気持ちを育てていきます。

(生活指導委員会 矢野 由香)